

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 3 4 5	コロナ禍で出来ていなかった活動に少しずつ取り組んでいるが、1年だけで終わらないように継続的に実施する。	地域との活動や関わりを継続することにより、グループホームかたぎはらが地域の一員として必要な存在となる。	現在、取り組んでいる地域との活動やグループホームでの取り組みをホームページなどを利用し、情報発信を継続する。運営推進会議に入居者、ご家族、近隣事業所やボランティアなどに参加していただき、活動の内容を理解してもらう。また、地域の居場所や、会議の場で認知症啓発等をおこない、誰もがすみやすい地域となるように働きかける	12ヶ月
2	1 2 11 19 20 26	サービス内容やプランでの個別性や具体性が乏しい。	入居者の思いや課題を把握し、具体的でわかりやすい書き方を工夫し、プランを作成する事で、家族との連携や職員間でのケアの統一を図る。	センター方式などにより、入居者、ご家族、の思いを汲み取り、主治医や関係機関とも話し合いを重ね、サービスの方針を検討し、具体性、個別性を作りあげていく。	12ヶ月
3					月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。